

令和 5 年度事業計画書

特定非営利活動法人 アトム

1 事業計画

新型コロナウイルスが 5 類に変わり、医療体制が緩和されましたが、感染力は衰えることとはなく継続した感染予防対策を実施していく必要があると思います。しかし、社会的活動は動き始め、各種の活動が再開され、制限されていた活動が活発化するにあたり、3 年間のコロナ下で体験したことを忘れないためにも、徐々に活動を再開していくべきと思われます。

同じように、滞っていた福祉的活動下においても、昨年の夏に、障害者権利条約を批准した国々が、それをどのように実践しているかの審査がジュネーブで開催されました。日本から当事者、支援者 100 人以上が参加し、日本は、まだまだ大規模収容施設が多く、その実現の悲惨を全く認識していない日本の官僚の答弁は、国連審査官から失笑を買ったといえます。脱施設化を実現した国々でさえ、国連の審査では、グループホームは、まだまだ管理された施設であり、地域生活の実現を目指す必要性が審査されたと報じられました。

これらのことを考えると、日本の障害者に対する考え方とその実践が如何に遅れているかが分かり寂しい思いが残りました。

そのような遅れた日本の福祉環境下で、当法人の実践している障害者地域支援活動は、如何にあるべきかを見直す良い機会となるのではないかと考えさせられました。

(1) 知的障害者グループホーム事業

障害福祉サービス事業所オリーブ(富岡地区) ウェルカムホーム 1~6(利用者 39 名)、障害福祉サービス事業所ハピネス(高崎市吉井地区) ハピネスホーム 1(定員 6 名)で事業は継続して行きます。職員確保に課題を抱えていますが、徐々に活動範囲も広がり余暇的環境も動きが見られる状況になりましたので、休日を利用した余暇活動や全体で行う行事を充実させていきたいと考えます。

(2) 多機能型事業所アトムフリート事業

多機能型事業所アトムフリートは、生活介護(定員 10 名)、就労継続支援 B 型(定員 10 名)計 20 名で事業を展開して行きます。知的、精神、身体障害者を対象者とする体制を維持し、定員を超える利用契約者が確保できるよう努力して行きます。

日中活動においては、就労継続支援 B 型利用者の仕事に対する意欲を向上させ、地域の企業に体験就労ができるよう取り組みます。また、生活介護支援利用者においても個々の能力に応じた種々の支援ができるよう検討重ね実践して行きます。

(3) 就労支援事業所アトムフリートⅡ事業

利用者の工賃アップが達成できているが、更なる取り組みを課題とし、利用者の技術力及び生産性が挙がるような支援を行い、現在の作業種目の売り上げ向上を目指します。また、施設外就労先事業所(富岡市:チュチュル事業所)での作業ができる利用者を増

やし、更なる工賃アップが図れるよう努力していきます。

働くことが就労継続支援B型施設のテーマですが、利用者一人一人が安定して事業所に通勤ができ、作業や他の活動を通して、充実した日中活動が送れることが大切な支援と考え進めていきます。

(4) 障害児・者相談支援事業所「アトム」事業

障害児・者相談支援事業所「アトム」は、64名の障害児・者の方と契約を結び、福祉サービスの利用開始前から継続中の相談業務に関わっています。今後は契約者の確保と更なる相談員の質の向上を高め、安定した事業運営が継続できるよう相談業務の充実を図ります。

(5) 移動支援事業所「アトムサポート」事業

移動支援の目的は、個別に本人の余暇活動を支援することで社会参加の機会を増やすことを目的としていますが、新型コロナウイルス感染予防対策のなか、社会参加活動が制約され、思うような活動ができない状況でした。今年度は、徐々に地域への活動を広げ、社会参加の機会を増やし、日々の生活に楽しみや潤いを見つけられるよう移動支援の事業に力を入れていきたいと考えます。

(6) 福祉有償運送事業

社会の環境も変わり、多くの方が自身の活動を積極的に国内外に求め動き始めました。従って、移動の機会も増え移送支援を求める人の増加が見込まれます。従来の通勤、通院等の活動に加え、生活に楽しみを見出す余暇活動の移動手段として、移送支援の充実を図っていきます。

(7) 富岡市地域生活支援拠点事業

障害者等の重度化、高齢化や「親亡き後」を見据え、障害者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、障害者等を地域全体で支えるサービス提供体制の整備を図ることを目的として、市、地域生活支援拠点事業所及び協力事業所が機能を分担しながら地域の実情に合わせて創意工夫により地域の障害者等の生活支援を行うための事業に協力していきます。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
障害福祉サービス事業所「オリブ」事業	共同生活援助事業 (グループホーム)	毎日	ウエルカムホーム 1	24名	9名/年間を通して
	共同生活援助事業 (グループホーム)	毎日	ウエルカムホーム 2		6名/年間を通して
	共同生活援助事業 (グループホーム)	毎日	ウエルカムホーム 3		6名/年間を通して

	共同生活援助事業 (グループホーム)	毎日	ウエルカムホーム 4		6名/年間を通して
	共同生活援助事業 (グループホーム)	毎日	ウエルカムホーム 5		6名/年間を通して
	共同生活援助事業 (グループホーム)	毎日	ウエルカムホーム 6		6名/年間を通して
障害福祉サービス事業所「ハピネス」事業	共同生活援助事業 (グループホーム)	毎日	ハピネスホーム 1	4名	6名/年間を通して
障害児・者相談支援「アトム」事業	障害児・者の相談支援	月～金	アトムフリート内 事務所	3名	75名/年間を通して
機能型事業所 「アトムフリート」事業	生活介護事業 (10名定員)	月～金	アトムフリート	8名	10名/年間を通して
	就労継続支援B型 (10名定員)				10名/年間を通して
就労支援事業所 「アトムフリートII」事業	就労継続支援B型 事業 (20名定員)	月～金	アトムフリートII	8名	20名/年間を通して
移動支援事業所 「アトムサポート」事業	休日を利用した余 暇支援	20日/ 月	県内外	4名	延べ人数 80名/月
福祉有償運送 事業	車輛を利用した移 送支援	毎日	県内外	20名	延べ人数 900名/月
地域支援活動	社会参加促進事業 就労援助	年間通 して	富岡・甘楽・安中・ 高崎地区事業所	5名	就労希望者
	文化活動支援「スポ ーツ、リクリエーシ ョン等」の活動	5回/月	県内	25名	40名/月
	余暇活動支援「旅 行、買物、日帰り温 泉、カラオケ、」等 の活動	5回/月	活動場所 県内外	30名	60名/月
研修事業	セミナー、部会各種 研修参加、施設見学	随時	研修県内外	45名	

富岡市障害者相談員、自立支援協議会、富岡支援学校評議委員	富岡市障害者相談員としての活動及び自立支援協議会メンバーとしての活動、富岡支援学校評議委員としての活動	随時	富岡市内	4名	富岡市を対象
緊急時の避難場所	災害等の緊急時に避難場所として2カ所の事業所を開放	随時	アトムフリート アトムフリートⅡ	4名	

(2) 収益事業

令和5年度は実施せず。